

2024年1月19日
株式会社三菱UFJ銀行

矢作建設工業株式会社と「ソーシャルローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、矢作建設工業株式会社（代表取締役社長 たかやなぎ みつひろ 高柳 充広、以下「当社」）との間で、全ての協力会社に対する手形支払の廃止と全額現金支払への変更を資金使途とした「ソーシャルローン」によるシンジケーション方式のタームローン契約（以下「本ローン」）を実行いたしました。

当社は、1949年設立の愛知県名古屋市東区に本社を置く総合建設会社で、建築・土木分野の建設工事の他、鉄道関連工事・不動産事業など、70年以上にわたって東海地方の街づくりに取り組んでいます。当社の企業理念である「誠実進取で自ら創造し、常に社会の要請にこたえる事業を行う」に基づき、建設エンジニアリングによる価値創造を通して、持続可能な社会の実現に貢献しています。2021年4月には矢作建設グループSDGs宣言を行い、グループ総力を挙げサステナビリティ社会への実現に取り組んでいます。

本資金使途は、当社が策定したソーシャルローン・フレームワークに基づいて、社会的課題の解決に資するプロジェクトとしての確認がなされたものであり、当社のソーシャルローン・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）は、株式会社日本格付研究所（JCR）より、ソーシャルローン原則への準拠について、最上位の「Social 1(F)」の評価を受けています。

当社は、本フレームワークの活用により、協力会社に対して支払条件の改善による資金繰り支援を通じた事業成長を促し、事業活動を通じたパートナーシップの強化によって技能・技術の向上を行うことで、建設業界や地域の活性化、企業理念の実現を目指しています。

【本ローンの概要】

契約締結日	2024年1月16日
アレンジャー/エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	50億円
資金使途	協力会社に対する手形支払の廃止と全額現金支払への変更
貸出人（五十音順）	株式会社愛知銀行、株式会社大垣共立銀行、株式会社三十三銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社百五銀行、株式会社百十四銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社横浜銀行、株式会社りそな銀行

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上